

fidata HFAD10-UBX の導入(5)

—DVD 再生(1)—

1. はじめに

前報(1)まででおおよその動作確認が終了しましたので、DVD 再生の音質を評価します。

2. fidata HFAD10-UBX の試聴情報

接続は、前報(1)のとおりで、HFAD10-UBX を PC に繋ぎ替え、PC の再生ソフト Any DVD により再生します。

HFAD10-UBX→PC→Sinica DAC

試聴対象の DVD は、PANASONIC の BD レコーダーDMR-UBZ1 でよく聴いている下記のものとしします。

BBC OA 0816 D

バッハ 教会カンタータ 179・199・113

ジョン・エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロイスト

ARTHAUS 100 039

ライブチッヒニコライ教会ライブコンサート

ヴィクトリア・ムローヴァ (ヴァイオリン)

ヘルベルト・ブロムシュテット指揮ゲヴァントハウスオーケストラ

RCA BVBC-31005-6

シューベルト 交響曲 8 番「未完成」

ブルックナー 交響曲 9 番

ギュンター・ヴァント指揮北ドイツ放送管弦楽団

ドイツグラモフォン

モーツアルト ヴァイオリン協奏曲全集

アンネ・ゾフィー・ムター (ヴァイオリン・指揮)

カメラータ・ザルツブルグ

3. fidata HFAD10-UBX の試聴結果

バッハの教会カンタータ集は、バロックアンサンブルの各パートの質感も通奏低音も明瞭で、ソリストの歌唱の教会内の残響もしっかり捉えられています。

ライブチッヒニコライ教会ライブコンサートは、ムローヴァによるバッハのシャコンヌとブロムシュテット指揮ゲヴァントハウスオーケストラによるベートーヴェンの交響曲

5番「運命」を聴きました。バッハのシャコンヌはしっとりとした演奏で教会内の豊かな残響も的確に捉えられています。ベートーヴェンの交響曲5番「運命」はクリアーで低音の響きもしっかり出ています。

ギュンター・ヴァントは、シューベルトの交響曲8番「未完成」は、東京のオペラシティホールにおけるライブ収録ですが、「未完成」の弦の美しさが聴けますし、コントラバスの音も明瞭です。

モーツァルトのヴァイオリン協奏曲は、ムターのヴァイリンは艶があり、カメラータ・ザルツブルグのアンサンブルもエレガントです。

以上は、パナソニックのプレーレコーダーDMR-UBZ1で聴いてきましたが、読み取り精度が良いようで、音質的にはそれを超えるような印象です。

4. まとめ

PCとHFAD10-UBXとSonica DACの組み合わせで、Any DVDによるDVD再生は、DVDソフトの再生の良さを改めて感じさせました。

以上